

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 本体に熱湯を入れ、クエン酸を約10g加える。
 - ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内側を洗い、水で十分にすすぐ。
 - ③ 十分に乾燥させる。
- ご使用前、ご使用後は十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
 - 他のものと一緒に手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	確認するところ	処置
■飲みもの(本体内側)がにおう	飲みものを長時間入れたままにしたたり、本体内側に茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。
■保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)飲みものをに入れていませんか。	十分に熱い(冷たい)飲みものをに入れてください。

お客様相談窓口 0570-094891

- 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・
電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

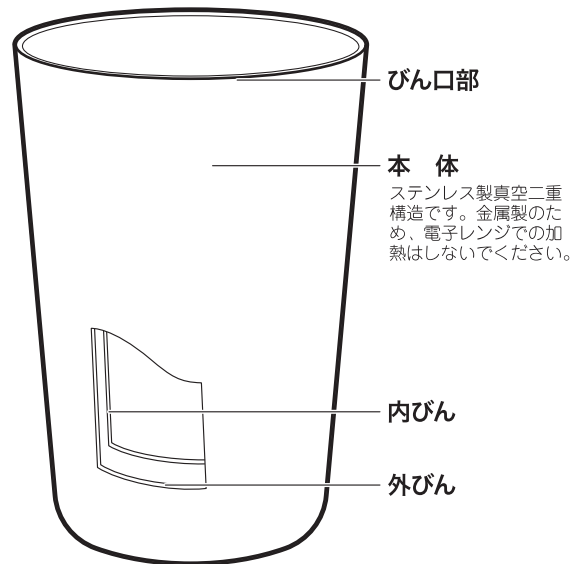
Peacock

耐ハイタンブラー 取扱説明書

ATJ型

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

各部のなまえ



安全上のご注意

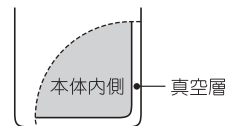
ご使用前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

飲みものの保温・保冷以外に使用しない

- 乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。
やけど・けがなど危険。
- ストープやコンロなど火のそばに近づけない。変形・変色の原因。
- ドライアイスはいれない。
- 飲みものを入れた状態で長く放置しない。
みぞ汁やスープなど、塩分を含んだものを入れて放置すると、塩分によりサビの原因になります。また、牛乳・乳飲料・果汁など、そのまま放置した場合、腐敗・変質・サビの原因になります。
- 飲みものを入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。
外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。帰宅後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。
- 倒したり、落としたりぶつかけたり、強い衝撃を与えない。
破損・保温(保冷)効果の低下・サビ・塗装はがれの原因。
- 熱い飲みものを入れた場合は、やけどのおそれがあるので注意する。
断熱効果により、熱いものを入れても本体外側は熱くなりません。
- 熱いやかんをびん口部に触れさせない。
転倒しやけどなどのおそれ。傷・変形の原因。
- 熱い飲みものをに入れて使用するときは、ゆっくり傾けながら飲みものを飲む。急に傾けると飲みものが勢いよく流れて、やけどなどのおそれ。
- アイスピックなど先のとがったもので突かない。
傷・変形など故障の原因。
- パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械の近くで使用しない。万一こぼした場合は、精密機械の破損の原因。
- 不安定な場所に置かない。
転倒して飲みものがこぼれ、やけどやものを汚す原因。
- 改造や分解修理はしない。故障や事故の原因。
- 冷凍庫に入れない。故障の原因。
- 電子レンジでの加熱はしない。火花が飛び危険。変形や変色の原因。

真空層の内部から水が音をする場合は、使用しない。

保温(保冷)効果が低下するおそれ。真空層にたまった水が本体内側にしみ出した場合、飲んで体調不良を起こす原因。



お手入れ方法

- ◆ 初めてご使用になる前には本体を洗ってご使用ください。
- ◆ ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆ お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆ においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体外側 水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。※つけ置き洗いはしない。

本体内側 水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついたスポンジブラシなどに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、水分が残らないよう、乾燥させる。※つけ置き洗いはしない。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 塩素系漂白剤は使用しない。サビ・穴あきなど故障の原因。
- 本体外側は漂白剤を使用しない。サビ・塗装はがれのおそれ。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。傷・サビなど故障の原因。
- 本体の煮沸および食器洗浄機や食器乾燥機などの使用はしない。傷・サビ・変形など故障の原因。
- 本体は丸洗いでできますが、つけ置き洗い(水中に放置)はしない。
- 本体を丸洗った後は、必ず水分をふきとる。
ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。